

CAMPUS HEALTH

2012.5

49 (3)



Japan University Health Association

CAMPUS HEALTH

49 (3)

公益社団法人 全国大学保健管理協会



目 次

巻頭言

「健康管理」とは	立 身 政 信	1
----------------	---------------	---

推薦論文

東日本大震災における三陸キャンパス救援活動の検討.....	蛭 名 倫 巳 ほか	3
健康診断の血液検査で発見されたサラセミアの9例.....	吉 村 彩 ほか	9
過去12年間の入学時UPIの回答分類とその後の精神保健上の問題との関係について	久 蔵 孝 幸 ほか	15
大学新入生の生活習慣とタイプAの諸特徴との関連について	高 橋 恵 子 ほか	21
発達障害学生を支援する組織のマネジメント－富山大学におけるアクション・リサーチ－	吉 永 崇 史 ほか	27
大阪府食育ヤングリーダー支援助成事業として取り組んだ学生主体の食育活動について	川 崎 詔 子 ほか	33
大学の保健管理に携わる看護職の職務に対する役割認識に関する調査	砂 川 昌 子 ほか	39
「教職員のための学生対応マップ」活用の効果－より充実した学生サポート体制を目指して－	山 本 洋 子 ほか	45
大学保健センターにおけるトラベルクリニックの実施について.....	柳 元 伸太郎 ほか	51
麻疹抗体価の経年推移－入学から4年次まで3年7ヶ月間の変化－	小 野 真 一 ほか	57
結核を発病した学生への継続支援－保健管理センターにおけるDOTSの取り組み－	榎 本 真美子 ほか	63

一般投稿論文

UPI-RS, ADHD・ASD困り感質問紙の短縮統合版の試作	山 崎 勇 ほか	67
The University Personality Inventory (UPI) は the Autism-Spectrum Quotient (AQ) の 代わりとして活用できるのか?	北 添 紀 子 ほか	73
大学における学生及び教職員の実験中・実験以外のヒヤリ・ハット及び事故の発生状況と 背景因子のリスク解析.....	岡 田 克 俊 ほか	79
一人暮らし学生のセルフメディケーションのための準備状況	大 見 広 規 ほか	85
大学新入生の口腔健康状態の調査－性差および経年的変化の検討－	児 島 梓 ほか	91
大学生の主観的健康状態の変化：入学時と半年後の比較.....	添 嶋 裕 嗣 ほか	97
東京の大学生における放射能の心配とソーシャルサポート.....	福 田 直 子 ほか	104

平成23年度事業報告	
第49回（平成23年度）全国大学保健管理研究集会概要	111
平成23年度 地方部会事業報告	122
平成24年度事業計画	
第50回（平成24年度）全国大学保健管理研究集会プログラム概要	133
平成24年度地方部会役職者および活動予定	134
理事・監事・評議員名簿	137
会員名簿	140
協会からのお知らせ	
会議報告, 会議予定	146
協会この1年	147
会誌等編集委員会からのお知らせ	149
CAMPUS HEALTH (2) 投稿規定	150
あとがき	153

「健康管理」とは

公益社団法人全国大学保健管理協会理事
岩手大学保健管理センター長

立身政信

大学における学生の健康管理は、主に学校保健安全法によって行われ、職員の健康管理は主に労働安全衛生法によって行われている。しかし、それはあくまでも「主に」であって、他の多くの法令や通達、さらに学内の諸規則、そして夫々の保健管理施設が独自に考案した決め事に従って様々な活動が行われている。この「CAMPUS HEALTH」には、そうした活動の記録が研究論文や調査報告として掲載されている。それらに通底するのは「健康管理」であるが、我々が管理（コントロールではなくアドミネレーションとケアの意味）する「健康」は、あくまでもWHO（世界保健機関）が、その憲章前文で謳うHEALTHであって、「身体的にも、精神的にも、社会的にも完全に良い状態である」ところの「健康」である。

ところが、よく知られたこの健康の定義を上手く説明するのは容易なことでない。「身体的・精神的・社会的が、そろって良い状態であることが肝要で、いずれかが欠けた状態では健康とは言えないのだ。」と解釈する向きもあるが、complete well-beingと表現された「完全さ」は、単なる三つ揃いのこととは思えない。さりとて、例えば「身体的に完全に良い状態」とはどのような状態なのか。「健康診断では、すべての項目が正常範囲であって・・・」とは言っても正常とは何かが判然としない。「身体的な障がいを持つ人は健康でない」という判断を、何の疑問もなく受け入れることができる人はほとんどいないだろう。まして精神的、社会的となれば、もう両手を挙げて降参するしかない。

辞書によれば、Healthの語源はギリシャ語のHolosにあるとのこと、「Holosとは全体を意味し、その派生語としてHolyなどがある。」となれば、もうこれは神の世界だ。しかも唯一神の世界である。八百万の神とは異なり、我々人間など死んだってなれない神である。欠けることのない完全さは神でなければならない。敷衍すれば、我々人間は死んだって健康にはなれないのだ。WHOによれば、健康とはそういうものである。では諦めるしかないのか。仏教的にはそのとおりで、道元は「生を諦め死を諦むるは仏家一大事の因縁なり」と説いている（もちろん「諦める」とは「明らかにする」という意味）。いずれ、健康とは誰にも手の届かないところにあるゴールであり、我々はそれに向かって日々生きていくほかない。とすれば、屈強な猛者であろうが障がい者であろうが違いはない。「神の下に皆平等である」とはこのことだろう。

宮沢賢治は長編詩「農民芸術概論綱要」の序論を「求道すでに道である」と結び、続いて農民芸術を8章にわたる格調高い文章で綴った後、その結論を「永遠の未完成これ完成である」という同じ意味の言葉で結んでいる。死んでもなれない「健康」に向かって生きることが即ち「健康」なのである。そういう生き方を支援することが、私たちの仕事である「健康管理」なのだろうと思っている。